



平成22年8月4日

各位

上場会社名 日本写真印刷株式会社
 代表者 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木 順也
 (コード番号 7915)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理部門担当 高橋 勝
 (TEL 075-811-8111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,000	3,000	3,400	1,600	37.01
今回発表予想(B)	56,000	500	500	250	5.78
増減額(B-A)	△4,000	△2,500	△2,900	△1,350	
増減率(%)	△6.7	△83.3	△85.3	△84.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	64,819	7,735	7,592	4,555	105.36

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	130,000	8,500	9,000	4,200	97.14
今回発表予想(B)	114,000	1,500	1,700	900	20.82
増減額(B-A)	△16,000	△7,000	△7,300	△3,300	
増減率(%)	△12.3	△82.4	△81.1	△78.6	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	126,965	11,257	12,061	6,934	160.38

修正の理由

当第1四半期連結会計期間における世界情勢は、アジアの新興国においては力強さが認められるものの、欧州をはじめとする先進国では金融危機を起因とした財政赤字などの影響によって景気回復が足踏み状態にあります。その中で当社は利益回復を最重点課題として、生産工程におけるコスト削減や技術に独自優位のあるセグメントの拡大に注力しております。しかしながら、当第1四半期連結会計期間においては特に先進国向けの需要が一層低迷したことに加え、前第3四半期後半より低下した製品単価の改善が進んでいないこと、さらに今後の見通しについては、産業資材事業のパソコン向け製品の需要が当初の予想を下回る見込みであることなどから、売上ならびに利益が当初計画を下回ることが想定されます。

これに伴い、平成23年3月期第2四半期(累計)ならびに通期業績予想につきましては、前回予想を下回ると見込まれるため、上記の通り修正致します。

※ 上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上